ライプツィヒ
音楽の町

Leipziger Freiheit

Leipzig Tourismus
und Marketing GmbH

ライプツィヒ、音楽の響きに満ちた町

バッハ音楽祭

音楽は人の心に深い感動を与え満たしてくれる芸術です。ライプツィヒでは街路に、広場に、コンサートホーに、有名な作曲家や音楽家の活動した場所に、至る所に音楽の力が感じられます。この地で生活し活動し、音楽史に名を残した音楽家が多数います。トーマスカントルであったヨハン・セバスチャン・バッハ、ゲヴァントハウスのカペルマイスターであったフェリックス・メンデルスゾーン＝バルトルディ、クララ・シューマンとロベルト・シューマン、リヒャルト・ワーグナー、エドヴァルド・グリーク、アルベルト・ロルツィング、グスタフ・マーラー、ハンス・アイスラーといった偉大な音楽家たちです。ライプツィヒの豊かな音楽遺産のひとつにゲヴァントハウス管弦楽団があり、現在の音楽監督は国際的人気の高い指揮者リッカルド・シャイーです。そして800年の歴史をもつ世界的に有名なトーマス教会合唱団も市の音楽遺産です。

トーマス教会にてライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団とトーマス合唱団

音楽が生きている町

ライプツィヒでは音楽が息づいています。オペラ、バレエや喜歌劇、夏のオルガン週間や国際的に有名なバッハ音楽祭、あるいはジャズフェスティバルや気楽に楽しめる「クラシック・エアレーベン音楽祭」などの場でその情熱が感じられます。文字通り「音楽の首都」ライプツィヒで、最高のオーケストラとソリストが音楽を愛する人々と出会うのです。

ゲヴァントハウス管弦楽団

ゲヴァントハウス管弦楽団

ゲヴァントハウス　「真の喜びとは真面目なもの」

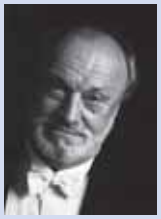
真の喜びは何よりも大切である、というラテン語の箴言がゲヴァントハウスのモットーです。有名なゲヴァントハウス管弦楽団の演奏会場であるこのコンサートホールは国際的なトップクラスのホールです。世界中から毎年約50万人の音楽ファンがゲヴァントハウスを訪れます。1743年にライプツィヒの商人が結成したヨーロッパ最古の市民オーケストラで、楽団の名前は18世紀末にできた紡織組合の商館のホールに由来します。伝説的な名声は歴代の名指揮者によって築き上げられたものです。古くはヨハン・アダム・ヒラーからフェリックス・メンデルスゾーン＝バルトルディ、最近ではアルトゥール・ニキシュからクルト・マズーア、ヘルベルト・ブロムシュテット、そして現在のリッカルド・シャイーの名が挙げられます。

ライプツィヒ・ゲヴァントハウス

ゲヴァントハウス管弦楽団

ゲヴァントハウス管弦楽団は世界で最も有名なオーケストラのひとつです。ゲヴァントハウスはベートーベン、ブラームス、ブルックナーといった著名な作曲家の傑作を数多く初演して来ました。楽団はゲヴァントハウスで「大コンサート」を公演しますが、ライプツィヒ歌劇場の楽団であり、トーマス教会でカンタータの演奏も行います。楽団はシーズン中にライプツィヒの3会場、および世界公演旅行において200回以上の演奏会を行います。現在の第19代ゲヴァントハウス管弦楽団の首席指揮者カペルマイスターは、スター指揮者のリッカルド・シャイーです。

クルト・マズア



クルト・マズアはほぼ30年にわたりゲヴァントハウスのカペルマイスター（楽長）として活躍し、ライプツィヒの音楽、文化、政治に深く係わってきた。1991年に国際メンデルスゾーン基金を創設。現在、ライプツィヒ名誉市民でゲヴァントハウス管弦楽団名誉指揮者。

1942-1944　ブレスラウで音楽学校に学ぶ
1946-1948　ライプツィヒ音楽大学に学ぶ
1970-1996　ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団カペルマイスター
1991-2002　ニューヨーク・フィルハーモニック音楽監督
2000-2007　ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者
2002年よりパリのフランス国立管弦楽団の音楽監督

クルト・マズアは新ゲヴァントハウス再建に深く関わり、1981年に落成した。1989年の非暴力平和革命を訴えたマズアの行動は人々の記憶に残っている。

リッカルド・シャイー

1953年にミラノの音楽一家に生まれる。父は作曲家。ピエトロ・グアリーノとフランコ・フェラーラに師事し、1970年にミラノでデビュー。1974年より世界の大きな歌劇場で活躍。

1982-1989　ベルリン放送交響楽団の首席指揮者
1986-1993　ボローニャ・コムナーレ劇場の音楽監督
1988-2004　アムステルダムのコンセルトヘボウ管弦楽楽団の首席指揮者
1999-2005　ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団の音楽監督
2005年9月よりライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のカペルマイスター

2009年2月2日、リッカルド・シャイーはゲヴァントハウスにおいてライプツィヒ・メンデルスゾーン賞の音楽部門賞を受ける

偉大な音楽家のゆかりの場所

メンデルスゾーン・ハウス

グラッシ楽器博物館

メンデルスゾーン・ハウス

フェリックス・メンデルスゾーン＝バルトルディはヨーロッパの音楽史に影響を与え、同時にライプツィヒから影響を受けました。ゲヴァントハウス管弦楽団を一流のオーケストラに育てたのはメンデルスゾーンの業績です。さらにメンデルスゾーンはバッハを再発見しました。1829年に上演したマタイ受難曲が「バッハのルネッサンス」の幕開けとなりました。1843年にドイツで最初の「音楽院」を創設し、この音楽院は現在もメンデスルゾーンの名前を冠しています。ゴルトシュミート通りにあるメンデルスゾーンの家にはシューマンやワーグナーといった当時の有名人たちが集いました。メンデルスゾーン・ハウスは偉大な作曲家メンデルスゾーンを記念する現在世界でただ一つの博物館です。

エドヴァルド・グリーク出会いの場所

エドヴァルド・グリークは1858年にライプツィヒ音楽院に入学し、この町と深くかかわってきました。ここでブラームスやチャイコフスキーに巡り合ったことが彼の生涯に大きな影響を与えました。ライプツィヒでグリークの初期の作品が生まれています。彼の楽譜の出版をしていたC.F.ペータースの家はタール通り10番地にあり、グリークはここによく滞在しましたが、この場所に現在グリークの作品が展示されています。

リヒャルト・ワーグナーはライプツィヒっ子

1813年5月22日、ワーグナーはライプツィヒに生まれました。1828年より旧ニコライ学校に通い、1831年からライプツィヒ大学で音楽の勉強を始め、当時のトーマスカントルのテオドール・ヴァインリッヒに師事し、この頃音楽家になる決心をしました。

シューマン記念年2010

ロベルト・シューマンとクララ・ヴィークは19世紀におけるライプツィヒの伝説的な相愛のカップルでした。1840年、当時すでにピアニストとして名を成していたクララと無名の作曲家シューマンはインゼル通りに移り住みました。「春の交響曲」とピアノ協奏曲イ短調第一楽章はここで生まれました。音楽家夫妻のかつての住居で現在は記念館となっているシューマン・ハウスでは展示とコンサートがあります。

シューマン・ハウス

グラッシ楽器博物館

楽器の収集では最大級の博物館です。ライプツィヒ大学付属の楽器博物館では楽器の仕組みと16世紀からの製造法の展示を見ることができます。約5000点を数える貴重な展示物には、世界最古のクラヴィコード（1543年製）や原形を保っている世界最古のハンマークラヴィーア（1726年製）があります。音響実験室ではいくつかの楽器を試してみることができます。

フェリックス・メンデルスゾーン=バルトルディ

1809年2月3日、ハンブルクの有名なユダヤ人の裕福な家に生まれる。バッハとは異なり、メンデルスゾーンの作品は生存中にもっとも多く演奏された。

1818	デビュー、その後多くの演奏旅行を行う
1833	デュッセルドルフの音楽監督
1835-1847	年　ライプツィヒ・ゲヴァントハウスのカペルマイスター
1843	ドイツで最初の音楽院をライプツィヒに開校

メンデルスゾーン=バルトルディは1847年11月4日にライプツィヒで亡くなった。メンデルスゾーン・ハウスは唯一残るメンデスルゾーン関連の住居で、現在博物館と音楽サロンとなっている。メンデルスゾーンにより、没後百年たってほぼ忘れ去られていたヨハン・セバスチャン・バッハが再発見され演奏されるようになった。

クララとロベルト・シューマン

才能に恵まれた女流ピアニストと作曲の巨匠の道がライプツィヒでひとつになった。1819年、クララはライプツィヒに誕生。教育熱心な父は娘を天才児として教育し世に出し、クララは早くからヨーロッパでピアニストとして頭角を現した。

若きロベルト・シューマンはクララの父にピアノを習い、1840年9月12日にライプツィヒでクララと結婚した。この結婚は二人にとって成功への礎となるものであったが、ロベルト・シューマンは指を痛めてピアニストとしての道を閉ざされる。

1843年、メンデルスゾーンはロベルト・シューマンをライプツィヒのドイツ最初の音楽院の作曲科教授として招聘し、勇気を与えた。クララはロベルト・シューマンの作品を深く理解して演奏し、そのため二人は今日でも高い評価を得ている。

ライプツィヒの楽譜シュプール

グリーク出会いの場所

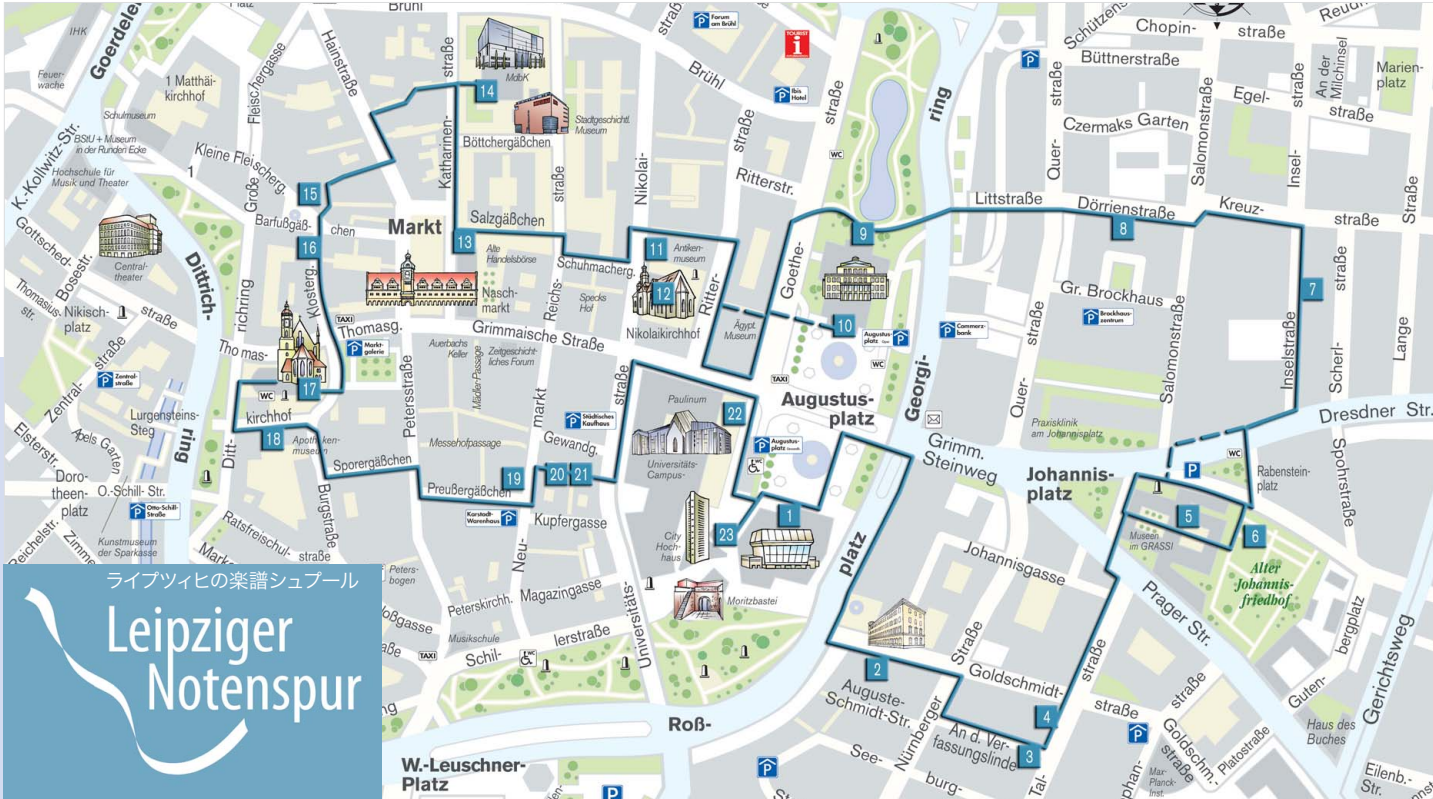
ショッピングモールで演奏

ライプツィヒの楽譜のルート

ライプツィヒほど有名な作曲家の仕事場や住居が多くある町は世界にありません。いたる所に音楽ゆかりのスポットがあります。現在の生き生きとした音楽の町の礎石を築いた輝かしい過去に出会います。ライプツィヒの楽譜シュプール市民団体は、豊かな音楽の宝物をもっと分かりやすく体験できるようにという目的を掲げて活動しています。3コースの音楽の道ができました。そのうち2本は徒歩のコース（ライプツィヒ楽譜シュプール、およびライプツィヒ楽譜ボーゲン）で、残る1本はサイクリングコース（ライプツィヒ楽譜サイクリング）と名付けられています。「ライプツィヒ楽譜シュプール」は長さ5.1キロで、市中心部の重要な音楽名所旧跡を結ぶコースです。このコースは2010年に開設予定です。音が出るステンレス鋼の帯がライプツィヒの街中に埋め込まれ、ライプツィヒの音楽の伝統を伝えます。

音楽の町ライプツィヒの名前を国際的に高めるために、市民団体はユネスコ世界文化遺産登録を目指して運動を展開しています。

1 新ゲヴァントハウス
2 メンデルスゾーン・ハウス
3 グリーク出会いの場所
4 旧ベータース音楽図書館
5 グラッシ音楽博物館
6 旧ヨハニス墓地
7 シューマン・ハウス
8 グラーフィッシェス・フィアテル/音楽出版社界隈
9 ワーグナー記念碑
10 ライプツィヒ歌劇場
11 ニコライ学校
12 ニコライ教会
13 旧市庁舎
14 造形美術館
15 コフェ・バウム「アラビアコーヒーの木」
16 かつてのホテル・ド・ザクセ
17 トーマス教会
18 バッハ資料館とバッハ博物館
19 クララ・ヴィーク生家の所在地
20 旧音楽院の所在地
21 最初のゲヴァントハウスの所在地
22 パウリヌム　大学大講堂と大学礼拝堂聖パウリ（2009年まで建設工事）
23 MDRクーブス　中部ドイツ放送交響楽団の会場


Markt
Augustus-platz
Johannis-platz
Thomasg.
Grimmaische Straße
Nikolaikirchhof
Naschmarkt
Salzgäßchen
Böttchergäßchen
Brühl
Ritterstr.
Goethe-
Georgi-
ring
Grimm. Steinweg
Johannisgasse
Prager Str.
Goldschmidt-
Auguste-Schmidt-Str.
An d. Ver-fassungslinde
Roß-
W.-Leuschner-Platz
Peterstraße
Grimmaische
Universitäts-
Neu-
Peterskirch.
Magazingasse
Kupfergasse
Preußergäßchen
Sporergäßchen
Burgstraße
Ratsfreischul-straße
Dittrich-
Klosterg.
richring
Barfußgäß-chen
Kleine Fleischerg.
Fleischergasse
Hainstraße
Katharinen-
Nikolai-
Schuhmacherg.
Ritter-
Gewandg.
Messehofpassage
Müller-Passage
Paulinum
Universitäts-Campus
City Hoch-haus
Moritzbastei
Musikschule
Alter Johannis-friedhof
Haus des Buches
Gerichtsweg
Platostraße
Nürnberger
Quer-straße
Salomonstraße
Inselstraße
Scheri-
Lange
Spohrstraße
Dresdner Str.
Gr. Brockhaus
Czermaks Garten
Büttnerstraße
Chopin-straße
Egel-straße
An der Milchinsel
Marien-platz
Kreuz-straße
Dörrienstraße
Littstraße
Schützen-
Rabenstein-platz
Praxisklinik am Johannisplatz
Museen im GRASSI
Commerz-bank
Brockhaus-zentrum
Augustus-platz
Ibis Hotel
Forum am Brühl
Stadtgeschichtl. Museum
MdbK
Alte Handelsbörse
Auerbachs Keller
Zeitgeschicht-liches Forum
Antiken-museum
Ägypt. Museum
Specks Hof
Apothekenmuseum
Karstadt Warenhaus
Stadtbuchhandel Kaufhaus
Markt-galerie
Zentral-straße
Otto-Schill-Straße
Kunstmuseum der Sparkasse
Peters-bogen
Zentral-theater
Nikisch-platz
Lurgensteins-Steg
Apels Garten
Doro-theen-platz
O.-Schill-Str.
Elsterstr.
Bosestr.
Gottsched-
K.-Kollwitz-Str.
Thomas-str.
Tho mas-
Goerdeler-
Dittrich-
Feuer-wache
IHK
1 Matthäi-kirchhof
Schulmuseum
BSIU + Museum in der Runden Ecke
Hochschule für Musik und Theater
Schil-
Platz
Ritterstraße
Reichs-straße
Nürnberger
Quer-straße
Salomonstraße
Inselstraße
Scheri-straße
Lange
Spohrstraße
Dresdner Str.
Gerichtsweg
Platostraße
Eilenb.-Str.
Goldschmidt-straße
Guten-bergplatz
Max-Planck-Inst.
Musikschule
Ratsfreischul-straße
Burgstraße
Peterskirch.
Magazingasse
Kupfergasse
Preußergäßchen
Sporergäßchen
Gewandg.
Messehofpassage
Grimmaische
Nikolaikirchhof
Salzgäßchen
Böttchergäßchen
Kleine Fleischerg.
Barfußgäß-chen
Katharinen-straße
Nikolai-straße
Schuhmacherg.
Ritterstr.
Brühl
Goethe-straße
Georgi-ring
Grimm. Steinweg
Johannisgasse
Prager Str.
Goldschmidt-straße
Auguste-Schmidt-Str.
An d. Ver-fassungslinde
Nürnberger
Platostraße
Quer-straße
Salomonstraße
Inselstraße
Scheri-straße
Lange
Spohrstraße
Dresdner Str.
Gerichtsweg
Eilenb.-Str.
Gr. Brockhaus
Czermaks Garten
Büttnerstraße
Chopin-straße
Egel-straße
An der Milchinsel
Marien-platz
Kreuz-straße
Dörrienstraße
Littstraße
Schützen-
Rabenstein-platz
Praxisklinik am Johannisplatz
Museen im GRASSI
Alter Johannis-friedhof
Haus des Buches

オーケストラと合唱団

MDR中部ドイツ放送合唱団

合唱の担い手

ライプツィヒの合唱団はトーマス教会合唱団だけではありません。バッハ合唱団からゲヴァントハウス合唱団や歌劇場合唱団、諸国民戦争記念碑合唱団、大学合唱団、ライプツィヒ・ヴォーカルアンサンブル、アマコード五重唱、さらに「クレイジー・ジェネレーション・ライプツィヒ」や「リトル・ライツ・オブLE」まで30余りの合唱団が様々な音楽分野で演奏活動を行っています。ライプツィヒを訪れた際にはどれか一つ合唱団のコンサートに行くことをお勧めします。

四季を通じてさまざまな演奏

4人の音楽好きのライプツィヒっ子が出会えば、翌日には四重奏楽団ができています。そして一週間後にはオーケストラになっています。この町のオーケストラの伝統はこのように伝説的なのです。例えばMDR中部ドイツ放送交響楽団は世界で最も古い放送楽団のひとつで、MDR放送合唱団や珍しい子供合唱団とともにゲヴァントハウスやアウグストゥス広場にあるMDRスタジオで演奏します。レパートリーは有名な作品から実験音楽まで幅広く多彩です。メンデルスゾーン室内楽団、ライプツィヒ・アカデミー・オーケストラ、ライプツィヒ大学オーケストラ、カプチーノ・サロンオーケストラといった楽団も音楽愛好家に好評です。まさに一級の演奏です！

カプチーノ・サロンオーケストラ

ライプツィヒ歌劇場

ライプツィヒ歌劇場バレエ

400年の歴史

アウグストゥス広場のライプツィヒ歌劇場

ライプツィヒの歌劇の歴史をたどると1693年に遡ります。ヨーロッパで三番目に古い市民の建てた歌劇場は、著名な作曲家の作品と深く結び付いています。ライプツィヒ生まれのリヒャルト・ワーグナーをはじめ、ゲオルク・フィリップ・テレマン、ハインリッヒ・マルシュナー、アルベルト・ロルツィング、グスタフ・マーラーなどです。歌劇場はオペラだけでなくライプツィヒ・バレエ、喜歌劇の上演ホールとなっています。偉大なソリスト、すべての公演で演奏するゲヴァントハウス管弦楽団、およびあまたの賞に輝く合唱団により、ライプツィヒ歌劇場の名声は国際的に揺るぎないものになっています。ペーター・コンヴィチュニー、ジャンカルロ・デル・モナコ、ヴィリー・デッカーなど著名な芸術監督が演出し、演目はバロックから現代まで多様な作品に彩られています。2008年8月よりコンヴィチュニーが歌劇場の首席演出を務めています。バレエディレクターのポール・シャーマー率いるライプツィヒ・バレエ団はウーヴェ・ショルツの振付を未来に向って引き継ぎ、ドイツでもっとも強いバレエ団のひとつとして世界的名声を博しています。

記念年と行事 / 2011年から2013年まで

2011年

グスタフ・マーラー没後100周年（11月18日）

アルトゥール・ニキシュと並んでグスタフ・マーラーは1886年から1888年までライプツィヒ市立劇場の副指揮者を務めました。マーラー没100年を記念してゲヴァントハウスは2011年5月17日～29日にマーラー音楽祭を開催します。ゲヴァントハウス管弦楽団の演奏はもちろんのこと、多数の国際的なトップオーケストラを招聘してマーラーの全交響曲を上演する構想です。

2012年

トーマス教会合唱団800年

トーマス教会はライプツィヒの音楽のゆりかごと言われます。1212年にアウグスティン派修道院が置かれ、トーマス教会合唱団が生まれました。2012年、ライプツィヒはこの世界的な少年合唱団の800周年を盛大に祝います。

2013年

リヒャルト・ワーグナー生誕200年：

大作曲家リヒャルト・ワーグナーは1813年5月22日にライプツィヒに生まれ、トーマス教会で洗礼を受けました。生まれ故郷であるライプツィヒは、2013年に多数のコンサートと行事を開催してワーグナーの生誕200年を祝います。5月にワーグナー・フェスティバルが企画されています。

ヨハン・セバスチャン・バッハ、その遺産と弟子

トーマス合唱団

バッハ資料館とバッハ博物館

ヨハン・セバスチャン・バッハはライプツィヒに27年間（1723-1750）住み活動しました。トーマス教会広場にあるバッハ資料館がバッハの遺産を保存研究する中心機関で、世界中から音楽研究家が訪れます。付属のバッハ博物館は現在2年を掛けて増改築中ですが、生誕325年に当たる2010年3月のバッハの誕生日に再開します。新たなコンセプトで完成する博物館は、マルチメディアやインタラクティブ情報技術を駆使してバッハの生涯と作品を展示します。毎年開催されるバッハ音楽祭が音楽行事のハイライトとなります。この国際的な音楽祭ではトーマス教会や旧市庁舎などの特別な場所を使って100以上の演奏会が開かれます。

トーマス教会合唱団

トーマス教会合唱団は音楽の町ライプツィヒの最も古い文化財ということができます。マイセン辺境伯は1212年に「聖トーマス教会付属アウグスティン派修道院」を建立し、そのとき生まれた少年合唱団は激動の時を経て現在世界的に有名になりました。2012年には創立800年を祝います。今日でも合唱団員は全寮制の生活を送りトーマス学校に通学しています。トーマスカントルのゲオルク・クリストフ・ビラーの指導のもとに少年合唱団は教会音楽の維持に努め、なかんずバッハの遺産を大切に守っています。

トーマス教会

週に3回、トーマスカントルのゲオルク・クリストフ・ビラー指揮によるトーマス教会合唱団のモテットとバッハのカンタータの素晴らしい演奏を教会で聴くことができます。この教会ほどバッハに近いところは他にありません。800年の歴史を誇るトーマス教会の内陣に偉大な作曲家でトーマスカントルであったバッハの墓があるのです。

五感が喜ぶライプツィヒ！

ライプツィヒ・ユース交響楽団

ゲーテの「ファウスト」の町、シラーの「歓喜の歌」の町にようこそ、ヴィルコメン！ライプツィヒは音楽家だけではなく文学者や哲学者、美術家にも住みやすい所でした。ライプツィヒは重要な見本市と商業の中心でしたから、その開放性が大きな魅力だったのでしょう。このオープンでダイナミックな雰囲気は現在もライプツィヒの特色です。コンサートを野外で楽しむ、昔の紡績工場にできたギャラリーやアトリエを見る、あるいは閉店時間のないトレンディなパブで過ごす…ライプツィヒには他の都市にはないバラエティに富むカルチャーがあります。ライプツィヒでは満足のゆくショッピングを楽しくできます。入念に修復されたモールを散策し、小さな専門店やデパートを覗いてみましょう。休憩は伝統的なコーヒーハウスで、あるいは屋外のカフェで街の賑わいを観察しながら一杯のコーヒーを注文して下さい。ザクセン地方の人々のコーヒー好きはドイツ中に知られています。

メードラー・パッサージュでお買い物

ヨハン・セバスチャン・バッハ

1685年3月21日、アイゼナッハの有名な音楽一族であるバッハ家に生まれ、音楽の環境の中で育った。しかし幼い時に両親を亡くし、兄ヨハン・クリストフに引き取られ音楽教育を受ける。

1700	リューネブルクのミヒャエル教会学校の奨学生となる
1703-1717	アルンシュタット、ミュールハウゼン、ワイマールでオルガニストとして活動
1717-1723	ケーテンで宮廷オルガニスト、室内音楽士、後に首席奏者兼宮廷楽長
1723-1750	ライプツィヒのトーマス・カントル兼市音楽監督として活躍

J.S.バッハによる数々の宗教音楽の傑作作品の中で、ヨハネ受難曲、マタイ受難曲、復活祭およびクリスマスオラトリオはライプツィヒで作曲された。バッハは最盛期の27年間をライプツィヒで送り、1750年7月28日ライプツィヒで没した。

リヒャルト・ワーグナー

リヒャルト・ワーグナーは1813年5月22日にライプツィヒで誕生。少年時代をドレスデンで過ごし、1827年、ライプツィヒに戻り旧ニコライ学校とトーマス学校で学ぶ。ライプツィヒのゲヴァントハウスの演奏会でワーグナーはベートーベンの作品に感動し、音楽家を志す。

1831	ライプツィヒ大学で音楽を学び、トーマス・カントルのクリスティアン・テオドル・ヴァインリッヒに師事
1843	ザクセン王国宮廷劇場指揮者
1849	三月革命に参加し、追われてチューリッヒに亡命
1860	初めてドイツに戻る

1860年後もリヒャルト・ワーグナーは故郷ライプツィヒで活動し、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスにおける「マイスタージンガー」の初演では自ら指揮をとった。

ライプツィヒ滞在パッケージ

ライプツィヒ全景

個人用プラン：「妙なる響きライプツィヒ」
内容（期間：通年の日曜、公演プログラムによる）

- 2泊 / 朝食付き、市内提携ホテル利用
- メンデルスゾーン・ハウス音楽サロンの日曜コンサート、および博物館見学
- ロベルト・シューマンなど有名な音楽家がよく訪れたカフェ・レストラン「アラビアコーヒーの木」でコーヒー（コーヒー1杯とケーキ）
- 展示「ザクセンの300年のコーヒー文化史」見学
- 市内観光地図

ダブルルーム一人 99 €より
シングルルーム一人 134 €より

グループ用プラン（20名以上）：「音楽の町ライプツィヒ」
内容（期間：通年）

- 2泊 / 朝食付き、市内の中級ホテル利用
- 徒歩によるガイド付き市内観光（所要2時間半）。テーマは「音楽の町ライプツィヒ」。ニコライ教会におけるオルガン演奏を含む
- アウアーバッハスケラーをガイド付き見学した後、コーヒー休憩
- メフィストケーキとメフィストチョコ
- メンデルスゾーン・ハウスの案内付見学
- ライプツィヒ・ゲヴァントハウスやライプツィヒ歌劇場のチケットの斡旋
- 市内観光地図

ダブルルーム一人 155 €より
シングルルーム一人 210 €より
チケット料金加算

予約および問い合わせは下記ライプツィヒ観光局まで

Leipzig Tourismus und Marketing GmbH · ライプツィヒ観光局
Richard-Wagner-Str. 1
D-04109 Leipzig, Germany

Tel. +49 (0)341 7104-275
Fax +49 (0)341 7104-251
incoming@ltm-leipzig.de
www.leipzig.de, www.ltm-leipzig.de

Leipziger Freiheit

Leipzig Tourismus
und Marketing GmbH

SAXONY.
STATE OF THE ARTS.

表紙：トーマス教会前バッハ記念碑の下で月曜コンサート
写真：バッハ資料館、バーダー、ベルント・ホッホムート・イベントマネジメント、ブルゾシュカ、ゲヴァントハウス、グラッシ楽器博物館、ライプツィヒ観光局（シュミット、モテス）、ヨーゼフ・ベック、メンデルスゾーン・ハウス、ブンクトゥム（ツァイエン）、市歴史博物館、トランジット、ツヴィカウのロベルト・シューマン・ハウス（シューマンのポートレートはヨーゼフ・クリーフーバー）、中部ドイツ放送局